



武蔵野線 8両(160m)を 乗務員が車内清掃!?

実施が強行されるならば「働かせ方改善」でしかない！
 目的が明らかにされず、丁寧な説明もないまま、施策

JTSU-E **ヒトデン情報局** 2022年 2月14日
 No.33
 輸送サービス労組 東所沢電車区分会

「乗務員が車内清掃」 みなさんはどう感じていますか？

1月の訓練にて、3月のダイヤ改正より「南越谷駅」での乗務員による車内清掃を実施することが説明されました。しかし、「まだわからないことが多く、不安が残る」ことや、「衛生上、このやり方でできるのか」など、施策に対して懸念や疑問を持つ声が多く出ています。

この2月の訓練でも施策に対して追加説明がなされていますが、「汚物処理で手などが汚れたらホーム上で手を洗いたい」ということや、「清掃に時間がかかるとより一層寝る時間が減ってしまう」「どこまで清掃すればよいのか、切り上げる時期はどう判断するのか」「窓閉めはどうするのか?」「本来、もっと準備や周知の時間が必要ではないか」などの意見が多く出されています。

このように、**施策が変更されるにも関わらず、全社員が納得いく説明や準備、周知がなされないままでは不安の中での作業となるため、ミスや誘発したり、場合によっては傷害事故などへつながったりなど、多くの問題のリスクが潜んでいます。**会社は社員の声にしっかり耳を傾けていくべきです。

労働条件があいまいなままの「実施ありき」は、さまざまなリスクを伴う大きな問題だ！！